**図　画　工　作　科　学　習　指　導　案**

日　時　令和　年　　月　日（　）

対　象　第　学年　組　名

授業者

会　場　図画工作科室

**１** 題材名 　「どんな思いで・・・～６年生の作品を見てみよう～」B鑑賞(1)ア,〔共通事項〕(1)ア,イ

**２** 題材目標

６年生の作品を見ることにより、作品に描かれている場所やものなどの造形的な特徴や、造形的な

よさや美しさ、表現の意図や表し方について感じ取ったり考えたりし、自分の見方感じ方を深める。

**３** 評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知知識及び技能 | 思思考力・判断力・表現力 | 主学びに向かう人間性 |
| ・６年生の作品を自分の感覚や話し合いを通して，形や色などの造形的な特徴を理解している。 | ・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、６年生の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴を感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。 | 主体的に鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。 |

**４** 題材について

1. 題材観

本題材は、小学校学習指導要領(平成29年告示)

図画工作　〔第５学年及び第６学年〕 内容　Ｂ鑑賞（１）ア　共通事項（１）ア（１）イ

図画工作　〔第５学年及び第６学年〕 内容

Ｂ 鑑賞

（１）鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。

〔共通事項〕

（１）「Ａ表現」及び「Ｂ鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること

イ　形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと

を受けて設定した。

　　本題材は５学年児童が６学年児童の絵画作品を鑑賞することにより、描かれている形や色、描き方の工夫などから、表現の意図や特徴を感じ取ったり考えたりしながら、自分の見方や感じ方を深める内容である。

(２)児童観

　　※児童の実態に合わせて記入する

　〔以下例文〕

　　５学年の児童は図画工作科に対して関心意欲も高く、鑑賞の活動にも意欲的に取り組んできている。題材の最後には完成した作品を鑑賞する「みるみるタイム」を行い、友達のつくった作品のよさや面白さなどを見付ける時間を十分にとり、ワークシートに見付けたよさや面白さを書いたり、伝え合ったりする活動を継続して行ってきた。その都度見る「視点」を明確にし、児童に伝えることで、どの児童も鑑賞の活動に戸惑うことなく取り組むことができていた。また、４学年時にはアートカードをつかった美術作品の鑑賞や、５学年の一学期には表現「季節を感じて」の題材終わりに「アルチンボルト」の「四季」を鑑賞した。その際も作品の形や色から自分なりのイメージをもって、友人同士で話し合ったり、学級全体で考えたり、共有する中で見方考え方を広げ、美術作品の鑑賞を楽しんで行ってきた。しかし一方で、作品の形や色から「かわいい」「面白い」「きれい」と言うような表面的な見方だけに留まってしまう児童もいる。それ自体は決して悪いことではないが、より作品の見方が広がることにより、子ども達がより鑑賞の「面白さ」を見付けられるように題材のながれを組む必要がある。

（３）教材観

本題材では一学年上の６学年児童の「お気に入りの風景」を鑑賞する。学校内の場所を描いている児童も多く、それは、5学年児童にとっても生活している場所だ。広い校庭や長い廊下、本がたくさんある図書室など、6学年児童と同じように5学年児童が気に入っている場所もあるだろう。作品鑑賞を通して、「この場所、私も好き」や「私だったら△△の場所が描きたいな」など、作品に対してより積極的な見方ができることを期待する。

また、使用している描画材は、水彩絵の具、油性ペン、クレパス、パステルなどの、5学年児童も使用したことのある用具である。つまりどのような表現の工夫をしているかに自然と気付くことができる。表現の工夫に気付くことにより、「○○だからぼかして描いているんだ」とか「□□にしたいから、絵の具の色をだんだん変えているのだな」など作者の意図まで感じ取ることができる。

そして見る視点として「時間」や「音」などをキーワードとすることで、「光による色の明るさ」や「動き」「奥行き」などにも気付かせたい。

　５学年の児童は、まず一枚の絵をクラス全体で鑑賞する。一枚を鑑賞することにより、作品の見方を全員で深め、本授業における「見方・考え方」を明らかにする。その後７枚の作品を廊下のスペースをつかって、自由に見る時間をとる。一人でじっくり見たり、友達と話し合ったりする中で、自分が好きな作品を一枚～二枚選び、その作品に描かれているもの、場所、どんな描き方をしているか、どんな音・匂いがあるか、作者はどんな思いで描いたのか、などを付箋に書く。付箋に書いて、すぐに作品に貼ることにより、自分が選んだ作品に対して、友達がどんなことを感じているのかも知ることができる。その後、児童の考えを、発言を通して全体で共有する。全員が感じたことを大切にし、授業者が発言をつなげていくことで、作品への見方考え方に広がりをもたせたい。最後には6年生の児童が作品に対しての「思い」を読んだり見せたりし、実際の作者の作品への思いを知る。これによって、作者の意図を知り、作品への見方・考え方を深めたい。

**５**　本時 （全６０分）

1. 目標

６年生の作品を見ることにより、作品に描かれている場所やものなどの造形的な特徴や、造形的な

よさや美しさ、表現の意図や表し方について感じ取ったり考えたりし、自分の見方感じ方を深める。

(2) 展開（45分授業）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ○学習活動　　・予想される児童の反応 | ●指導上の留意点・配慮事項  ☆評価　知　思　主 |
| 導入 | 〇図工室に入室し、６年生の作品が目に入る。  　・６年生が描いたのか。何を描いたのだろう。  　・キレイな作品。上手だな。  〇本時のめあてを知る。    ６年生の作品をみて、描き方の工夫を見付け、どんな思いで描いたのかを感じ取ろう。  ・描き方の工夫ってなんだろう。  　・６年生の思い・・・わかるだろうか？  〇一枚の作品を全員で一緒に見る。  　・音楽室→ピアノみたいなものの前に座っている人がいる。  　・玄関→緑が校庭を表わしている。四角のものが靴箱。  絵の中は何時なのか？  　どんな音が聞こえるのか？  　どんな匂いがするのか？などの問いかけをし、  形・色を根拠に考える。  ・緑が明るいから、光の当たるお昼だね。  ・緑がバラバラしているから、風の音がしそう。  〇自分のすきな一枚を見付けよう。  　・色が明るいから好き。見ていると優しい気持ちになる。  　・広い感じの奥行きがあるからすごい。私も描いてみたいから好き。  　・雨の学校を描いているなんて面白い。この感覚が好き。  　付箋にすきな理由や絵から感じたことを書いて、絵  に貼る。 | 主主体的に鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。 （態度・表情）  ●自分が感じたことを大切にするように伝える。  ●学校内のどこを描いているかを考えることにより、形・色に注目させる。  ●全員で鑑賞することにより、一人一人の造形的な見方考え方を揺さぶる。  ●絵を見るときに、五感を働かせて、形や色からイメージができるような声掛けをする。  知６年生の作品を自分の感覚や話し合いを通して，形や色などの造形的な特徴を理解している。（発言）  ●はじめは一人で見る。そのあと、友達と話しながら見ても良いし、最後まで一人で見ても良い。自由なスタイルで鑑賞の時間を設けることにより、お互いの感じたことを共有しやすい環境をつくる。  ●巡視をし、どの児童がどの作品を選び、そこからどんなことを感じたかを見取る。 |
| 展開 | 〇全員でお互いの感じたことを伝え合う。  　・私が好きな作品は①の作品です。私も図書室が好きだし、図書室の本をカラフルに描いていて、それがとても楽しい感じがするからです。本が好きな人なのかなって思いました。  　・私が好きな作品は③の作品です。まず、校庭が好きです。そして、校庭がとても広く描かれていて、志村第二小学校の校庭らしいからです。きっと校庭で走ったり遊んだりしたから広く描いたのかなって思いました。 | ●いろいろな感じ方があってよいことをもう一度全体で確認し、書いたことを自由に発言できる雰囲気をつくる。  思形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、６年生の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴を感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。（発言・付箋・ワークシート） |
| まとめ | 〇ふりかえりをワークシートに書く。 |  |

**６**　学習の準備

児童：筆記用具

教師：6年生の作品　プロジェクター　ワークシート

**７**板書計画及び場の設定

○板書計画

片づけ

準備

筆記用具

ワークシート

学習の流れ

1. みんなで見よう

　何が？

　どんなふうに？

　そこから？

1. 鑑賞フリータイム
2. みんなで話そう

６年生の作品を

見てみよう

めあて

6年生の作品を鑑賞して、描き方の工夫から6年生の気持ちを感じよう。

　　　　：　まで

〇　場の設定

図画工作室

作品

Ｖ

Ｖ

どんな思いで・・・～6年生の作品を見てみよう～

ワークシート

☆６年生の作品をみて、描き方の工夫を見付け、どんな思いで描いたのかを感じ取ろう。

〇６年生の思いを絵から見つけに行こう。

付箋の書き方

1. どんな思い？どうして好き？
2. どこからそう思ったか？

（形・色・描き方の工夫）

〇ふりかえり

　組